

平成 29 年 4 月 12 日

中国地区各県協会長 様

(公社)全国ビルメンテナンス協会

中国地区本部長 中 野 信 博

(公印省略)

外国人技能実習生の受入に係る実態調査の報告について

このことについて、別添のとおり取りまとめましたのでご報告します。会員の皆様等への周知をお願いします。

この調査は、国内の多くの産業で労働力不足が深刻化するなかで、ビルメンテナンス業界においても、労働力不足が経営課題となっているかを、中国地区内の会員の皆様を対象に確認させていただくと同時に、解消策の一つとして外国人技能実習生制度の利活用についても実態を調査するものでした。

調査の結果、85%の会員が労働力不足を経営課題と認識しており、すでに外国人技能実習生を受け入れている会員は 9 社で、多くの会員がこれから検討する段階にあるということでした。

また、受入にあたっての不安や、事前に確認しておきたい点としては、技能実習生のコミュニケーション能力や教育指導方法が上位という結果となりました。

今回の結果を参考にしながら、今後の地区本部運営を考えて参りたいと思います。
業務多忙の中、調査にご協力を賜りお礼申し上げます。

外国人技能実習生の受入に係る実態調査（報告）

1. 調査の目的

本調査は、ビルメンテナンス業界における労働力不足への問題意識と、外国人技能実習生制度の活用の実態および今後の活用動向を把握することを目的とする。

2. 調査対象

平成 29 年 3 月時点で、中国地区内のビルメンテナンス協会に加盟している 174 社を対象とした。支社、支店および営業所は、管轄内を基準とした。

3. 調査方法

質問紙法による FAX および郵送調査

4. 調査期間

平成 29 年 3 月 16 日～3 月 31 日

5. 回収状況

86.7%（174 社中 151 社） 県別は図表 0 のとおり。

図表 0 回収状況

	会員数	回収数	回収率（%）
鳥取県	22	19	86.3
島根県	19	19	100.0
岡山県	45	37	82.2
広島県	63	57	90.4
山口県	25	19	76.0
全体	174	151	86.7

設問 1 現時点で、貴社にとって労働力不足は経営課題となっていますか。（図表 1）

図表 1 ※括弧内は回答数

	なっている	なっていない	克服した
鳥取県	84.2%（16）	10.5%（2）	5.3%（1）
島根県	84.2%（16）	5.3%（1）	10.5%（2）
岡山県	83.3%（30）	13.9%（5）	2.8%（1）
広島県	80.7%（46）	17.5%（10）	1.8%（1）
山口県	100.0%（19）	0.0%（0）	0.0%（0）
全体	84.7%（127）	12.0%（18）	3.3%（5）

設問 2 現在、ビルクリーニング作業で外国人技能実習生を受け入れていますか。(図表 2)

図表 2

	受け入れている	受け入れていない	受け入れ人数
鳥取県	0 社	19 社	
島根県	0 社	19 社	
岡山県	2 社	35 社	3 人 (1 人 1 社、2 人 1 社)
広島県	6 社	51 社	23 人 (2 人 2 社、3 人 1 社、4 人 1 社、6 人 2 社)
山口県	1 社	18 社	2 人 (2 人 1 社)
全体	9 社	142 社	28 人

設問 3 貴社は、今後、外国人技能実習生制度を活用しますか。(図表 3)

図表 3 ※括弧内は回答数

	鳥取	島根	岡山	広島	山口	全体
積極的に、常態的に活用する	5.3% (1)	11.1% (2)	5.4% (2)	5.3% (3)	5.3% (1)	6.1% (9)
必要に応じて活用する	31.5% (6)	22.2% (4)	32.4% (12)	26.3% (15)	31.5% (6)	29.2% (43)
活用する、しないを検討している (これから検討する)	21.1% (4)	33.3% (6)	32.4% (12)	45.6% (26)	26.3% (5)	36.1% (53)
効果が上がらないので活用しない	0.0% (0)	11.1% (2)	5.4% (2)	3.5% (2)	21.1% (4)	6.8% (10)
必要性がないので活用しない	36.8% (4)	16.7% (3)	16.3% (6)	17.6% (10)	10.5% (2)	17.0% (25)
その他	5.3% (1)	5.6% (1)	8.1% (3)	1.7% (1)	5.3% (1)	4.8% (7)

<その他>

- ・ 現在は活用を考えていない。
- ・ 対応できないので活用しない。
- ・ 法人の目的上、活用しない。
- ・ 関連に組合がある。
- ・ 接客業として受入は困難と思う。

設問 4 実習生の受入で、次の一般的な効果以外に期待する効果をお聞かせ下さい。(図表 4)

【労働力の確保、3 年間の安定就労、20 代による生産性の高さ】

図表 4

括り	期待する効果（回答）
職場環境	・ 社内外の活性化が図れる。 ・ 明るい雰囲気になる。 ・ 労働意欲の高さによる好影響。 ・ 従業員の高齢化対応が図れる。 ・ マニュアルの再整備ができる。
教育	・ 職員のコミュニケーション能力、指導者の管理能力が向上する。 ・ 異文化交流が進み、外国人観光客へのサービス向上につながる。 ・ グローバルな視点のアイデアや発想力が生まれる。 ・ 仲間の心の広さを測れる。(人的評価ができる。)
収益・営業	・ 人件費の削減（求人広告費、教育訓練費含む） ・ 取り組み参加に対する営業効果 ・ 新規事業、顧客の獲得 ・ 海外展開への足がかり

設問 5 実習生の受入で特に不安な点や事前に検討しておきたいことをお選び下さい。

(上位 3 つまで)(図表 5)

- | | |
|-------------------|-------------|
| ・ 外国人技能実習制度 | ・ 実習生への教育方法 |
| ・ 採算性 | ・ 実習生の失踪リスク |
| ・ 実習生のコミュニケーション能力 | ・ 基礎検定 |
| ・ 実習生の清掃技能レベル | ・ 支援団体 |
| ・ その他 | |

図表 5 ※括弧内は回答数

	鳥取	島根	岡山	広島	山口	全体
外国人技能実習制度	10.2% (5)	16.7% (8)	13.5% (12)	9.6% (13)	14.4% (6)	12.1% (44)
採算性	10.2% (5)	6.3% (3)	14.6% (13)	13.2% (18)	19.0% (8)	12.9% (47)
実習生のコミュニケーション能力	28.6% (14)	33.3% (16)	27.0% (24)	27.2% (37)	23.8% (10)	27.7% (101)
実習生の清掃技能レベル	8.2% (4)	6.3% (3)	5.6% (5)	8.1% (11)	9.5% (4)	7.4% (27)
実習生への教育方法	22.4% (11)	22.9% (11)	19.1% (17)	21.3% (29)	19.0% (8)	20.9% (76)
実習生の失踪リスク	16.3% (8)	8.3% (4)	15.7% (14)	14.0% (19)	14.3% (6)	14.0% (51)
基礎検定	0.0% (0)	2.1% (1)	1.1% (1)	1.5% (2)	0.0% (0)	1.1% (4)
支援団体	4.1% (2)	4.1% (2)	3.4% (3)	5.1% (7)	0.0% (0)	3.9% (14)

<その他>

- ・ ビルオーナー側の受け入れ態勢
- ・ ビルオーナー側への信頼を失う可能性
- ・ 実習生の“おもてなしの精神”がどれぐらい身についているか
- ・ 同業他社の受入事例
- ・ 実習生の日本語力
- ・ 制度全般の手続に関する書類

〈参考資料〉 使用した調査案内と調査票

平成 29 年 3 月 16 日

会 員 各 位

(公社)全国ビルメンテナンス協会
中国地区本部長 中 野 信 博

(××)××ビルメンテナンス協会
会 長 × × × ×

(公印省略)

外国人技能実習生の受入に係る実態調査について

昨今のビルメンテナンス業界における労働力不足は、企業規模の大小を問わない共通的な経営課題となっており、今後ますます深刻化することが推察されます。

当業界においても、※¹ 外国人技能実習生制度を活用し、この労働力不足の解消を実践している、または検討している企業も見受けられます。

つきましては、外国人技能実習生の受入に係る実態調査を行い、今後の協会運営の参考にしたいと思っておりますので、是非、調査にご協力をお願いします。

ご多忙の折、恐縮ではございますが、3 月 31 日までにご回答下さいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容は、県単位で取りまとめ、結果を開示する予定です。(個別企業名の開示はいたしません。)

※1 外国人技能実習制度

- 国際貢献のため、開発途上国等の外国人を日本で一定期間（最長3年間）に限り受け入れ、OJTを通じて技能を移転する制度。
- 技能実習生は、入国直後の講習期間以外は、雇用関係の下、労働関係法令等が適用されており、現在(平成 28 年 6 月)全国に約 21 万人在留している。
- 平成 28 年 4 月から「ビルクリーニング作業」が対象作業に加えられた。

回答先 ××協會事務局(FAX ×××-×××-××××)

外国人技能実習生の受入に係る実態調査票

企業名

※支社、支店、営業所は、管轄内を基準として下さい。

設問 1 現時点で、貴社にとって労働力不足は経営課題となっていますか。

- ・ 経営課題となっている
- ・ 経営課題となっていない
- ・ 克服した

設問 2 現在、ビルクリーニング作業で外国人技能実習生を受け入れていますか。

- ・受け入れている (名)
- ・受け入れていない

設問 3 貴社は、今後、外国人技能実習生制度を活用しますか。

- ・積極的に、常態的に活用する
- ・必要に応じて活用する
- ・活用する、しないを検討している（これから検討する）
- ・効果が上がらないので活用しない
- ・必要性がないので活用しない
- ・その他（ ）

設問 4 実習生の受入で、次の一般的な効果以外に期待する効果をお聞かせ下さい。

- ・労働力の確保、3年間の安定就労、20代による生産性の高さ

$$\left[\begin{array}{c} \\ \\ \\ \end{array} \right]$$

設問5 実習生の受入で特に不安な点や事前に検討しておきたいことを選び下さい。

(上位 3 つまで)

- ・外国人技能実習制度
 - ・採算性
 - ・実習生のコミュニケーション能力
 - ・実習生の清掃技能レベル
 - ・その他（ ）
- ・実習生への教育方法
 - ・実習生の失踪リスク
 - ・基礎検定
 - ・支援団体